

自律協働入門 2014

先輩講話

【授業】＜自律協働入門＞先輩の話をお聞きください！

課題探究セミナー・自律協働入門2014で社会と協働した活動に取り組んでいる先輩グループで出稽古を行っている1年生達が、高知大学の卒業生を講師に「このような経験がその後どう生きているのか」について学びました。



以下に講師を務めてくれた2人の先輩が1年生に向けて話してくれた内容を簡単にご紹介します。

☆☆☆ ★☆☆ ☆☆☆ ★☆☆ ☆☆☆ ★☆☆ ☆☆☆ ★☆☆ ☆☆☆

山地由圭里さん（高知大学人文学部社会経済学科卒業）

山地さんは、1年次にCBI企画立案（首都圏での6か月インターンシップの事前授業）を履修し、2年次4月～9月まで東京にて、ワークライフバランスに関する普及推進や企業コンサルティングを行う会社でインターンシップを経験しました。ライフの充実がワークでのアウトプットの質を高める社員の方の働き方に触れ、様々な刺激を受けました。大学に戻ってからは、学生ファシリテーターとしても活躍しました。

○自分の直感を信じて・・・

長期インターンシップに興味を持ったのは姉がインターンシップを経験し顔つきが変わったことがきっかけだった。大学入学後、周りの友人は「就職すれば働くんだから今働かなくても…」と口をそろえる中、自分の直感を信じ一人挑戦した。

○働くこと＝生活を犠牲にするもの？

それまでは正直、「働くこと＝長時間労働は当たり前で生活を犠牲にするもの」というマ

イナスイメージがあった。

いざインターンシップがスタートすると社会人の時間のなさを実感した。仕事を中心の生活。ただその中で「ライフ・ワーク・バランス」について知った。仕事と生活のやりがいと充実感。それまでのマイナスイメージを払しょくするきっかけとなった。

○「ライフ・ワーク・バランス」

大学卒業後、無事就職し東京の部署に配属。知らない土地での初めての一人暮らしで慣れない長時間の仕事…、次第に疲れ一時仕事が嫌になってしまいそうになった。そんな時ふと思ひ浮かんだのはインターンシップでの経験。思い切って憧れのイラストレーターの教室の門を叩いた。

通い始めたイラスト教室。充実した休日を過ごすうちに不思議なことに仕事に対してのモチベーションも上がり、より充実した日々を過ごすようになった。

今は高知に戻りまた違う業務に取り組んでいるが、将来は人事に関わり、会社全体で「ライフ・ワーク・バランス」に取り組めるようになることが今の夢だ。

○大学生に伝えたいこと

大学生にはもっと多くの時間と自由がある。私のきっかけはインターンシップだったけど、他の何でもいい。ただ、「何もしない事」に満足はしないほしい。



柴田洋亮さん（高知大学理学部理学科卒業）

柴田くんは、1年生の時に中学高校の同級生が授業の課題として始めた日曜市でのボランティア活動「Sunday Market Supporters」にボランティアとして参加しました。雨の日も風の日も休まず毎週日曜日に通うこと4年間。最初は距離のあった出店者の皆さんにも顔と名前を覚えてもらい、S.M.Sは日曜市に欠かせぬメンバーとなりました。また同時に柴田くんにとっても日曜市の存在が将来を左右するくらい大きなものになりました。

○きっかけは友人のひと声

「暇やろ、いっしょにやろう」

中学からの友人と同じ大学に入学し、友人が「地域協働入門」という授業を履修した。そこでSunday Market Supporters (SMS) という日曜市でのボランティア活動団体を作ったらしい。講義を履修はしていなかったが団体の一員となりボランティアを始めた。

初めは出店者の人にも煙たがられていたが毎週通ううちに声をかけてもらえるようになった。

○メンバー全員の想い

半年間の講義が終了。SMSへのサポートもなくなった。だが約半年間毎週通い続けたこ

とでメンバー全員が続けたいと願う学生有志の任意団体として再スタートを切った。

その後、市役所の方に協力をいただき休憩所のテントを設置してもらい、休憩所の運営・観光案内・日曜市の食材を使ったお弁当企画など活動の幅を広げていった。

○就活、そして就職

大学3年生の後半になり、周りが就活を意識し始めたころ、目の前にはたくさんの選択肢があった。研究職、教職、一般職…どれもこれもあやふやなイメージしか持てなかった。

ただ、一年生の秋から通い続けた日曜市にはつよい思いがあった。そして日曜市を管理している部署のある高知市役所を志願。独学での勉強を始めた。

無事市役所に合格し、そのまま日曜市などを管理している部署に配属された。初めて仕事として訪れた日曜市。学生と社会人との違い、ボランティアと管理者（仕事）の違いに眠れない日もあった。

公務員といえば定時ピッタリに働けるイメージもあるかもしれないが実際は日付が変わるまで働くこともあるし、つらいこと、難しいことも多い仕事だが、それ以上のやりがいを

日々感じている。



○大学生に伝えたいこと

大切なのは「コミュニケーション能力」

よく言われている言葉だが、本当に大切なことだと思う。

僕は日曜市で幅広い年代の方と話し交流することで身につけることができたと思う。（実際面接のときあまり困らなかった。）

大学生のうちから多くの人と関わりを持って、コミュニケーション能力を磨いてもらいたいと思う。

★★★ ☆☆☆ ★★★ ☆☆☆ ★★★ ☆☆☆ ★★★